

似鳥美術館研究会

会場：
旧三井銀行小樽支店

当日は 10:00 ～
受付開始します

似鳥美術館を知る、楽しむ。

現在似鳥美術館では、近現代の日本画や洋画、ガラス作品など約 300 点以上を常設展示しております。
「似鳥美術館 研究会」は、多岐に渡る似鳥美術館のコレクションを紐解いていく、初の本格美術館講座です。

10/13 (土)
10:30 - 12:00

『近代日本洋画の双璧— 梅原龍三郎と安井曾太郎』

講師：^{とま な まこと} 苫名 真（北海道立近代美術館学芸部長）



ともに京都で生まれ、洋画家・浅井忠の下で学んだ梅原龍三郎と安井曾太郎。
二人が活躍した時代は「梅原・安井時代」と呼ばれ評価されましたが、いったいどのような点が優れているのでしょうか。
似鳥美術館のコレクションにもふれながら、近代日本洋画の魅力について、やさしくお話いただきます。

◆詳細

参加費：各回一般1,500円、小樽市民1,000円、学生700円

会場：旧三井銀行小樽支店

定員：30名(先着順)

お申込み：要予約 電話かe-mailで①氏名②住所③電話番号をお伝えの上、お申し込み下さい。

電話/ 0134-31-1033 e-mail/otaru-art-base-info@np-inc.jp

※講座当日、似鳥美術館観覧券を一枚お渡し致します。
(一名様一日限り有効)

※ステンドグラス美術館にご入館の際は、別途チケット購入が必要です。

講師：苫名 真（北海道立近代美術館学芸部長）



1962（昭和 37）年 1 月 25 日生まれ。
滋賀県草津市出身。
主な企画展に、「日本工芸の青春期 1920s-1945」展、1996 年「オーストラリアの現代工芸」展、1997 年「生誕 100 年記念三岸好太郎展」、2003 年など。

次回予告

『藤田嗣治の裸体表現をめぐる』

講師：佐藤 幸宏
(北海道立近代美術館学芸副館長)

日時：11 月 17 日 (土)
10:30 - 12:00